

熊本県で認定品種に採用された水稻「玉系94号」の特性

身次幸二郎・小代寛正・古賀 進¹⁾・松本峯士²⁾・上野育夫³⁾

(熊本県農業研究センター¹⁾熊本県農業研究センター高原農業研究所²⁾元熊本県農業研究センター³⁾熊本農業改良普及センター)

Kojiro MITSUGI, Masahiro SHOUDAI, Susumu KOGA, Tetsusi MATSUMOTO and Ikuo UENO :
Agronomic Characters of New Rice Cultivar "Tamakei No 94"

熊本県では、イグサ等の後作として、約4,000haの水稲晩期栽培が行われているが、移植時期が7月下旬までに及び、また、イグサ栽培の後作では多量の窒素成分が残るため、作付可能な品種は制限される。現在では、1990年に晩期栽培用として認定品種に採用された「ゆめみのり」を中心として作付けされている。しかし、「ゆめみのり」は短稈であるため、育成期間の短い晩期栽培では、育成状況によってはコンバインでの収穫ができない場合があること、穂発芽性が“易”であること、食味が不十分であること等の理由から、これに替わる晩期適応性品種が求められている。そこで、「ゆめみのり」に替わる品種として「玉系94号」を選定したので、その特性について報告する。

1. 来歴

本品種は、1987年に埼玉県農業試験場において「チヨニシキ」を母、「玉系74号」(後の「ゆめみのり」)を父として人工交配を行った組合せに由来する。F₁は冬期間に埼玉県農業試験場のグロースキャビネット内で養成し、1988年～1989年にF₂～F₅集団を沖縄県の現地ほ場で世代促進栽培を行った。1989年に沖縄県の現地ほ場でF₅集団から穂抜きによる選抜を実施し、1990年F₆世代以降、埼玉県農業試験場ほ場で系統育種法により選抜、固定を行った。

熊本県においては、1992年に奨励品種決定予備試験に供試し、1994年から同本試験に供試するとともに、八代市の現地試験において地域適応性を検討した。

2. 特性概要

1) 形態的特性:「ゆめみのり」に比較し、稈長はやや高い程度で、穂長は長く、穂数がやや少ない“中稈偏穂数型”である。止葉は比較的立ち、草姿・熟色は“極良”である。ふ先色と穎色は“黄白”である。

2) 生態的特性:「ゆめみのり」より出穂期で2日程度、成熟期で4日程度遅い中生種である。収量性は標肥栽培では「ゆめみのり」と同等で、多肥栽培ではやや多収である。葉いもち、穂いもち病抵抗性は「ゆめみのり」と同程度の“やや強”であり、白葉枯病には“やや強”である。耐倒伏性は、“強”である。穂発芽性は“やや難”である。

3) 品質・食味:玄米の形状は“中”、大きさは“やや小”である。「ゆめみのり」と比較して、玄米千粒重はわずかに小さい。腹白、心白、乳白の発生が少なく玄米の外観品質は「ゆめみのり」並みに良好である。食味は、外観・味が良く、「ゆめみのり」より良好である。

3. 地域適応性

1994年より、八代市のイグサ後ほ場において「ゆめみのり」を対照品種として、現地試験を実施した。その結果、「ゆめみのり」と比較して、出穂期で1日、成熟期で2日遅い中生で、稈長はやや高く、穂長は長く、穂数は少なく、多収であった。また、耐倒伏性は同程度で、玄米千粒重はやや小さく、外観品質は同程度となっており、イグサ後の晩期栽培においても「ゆめみのり」より優れた栽培特性を示した。

4. 栽培上の注意点

耐倒伏性は“強”であるが、極端な多肥条件では倒伏することがあるので、間断灌水や中干し等の水管理を徹底する必要がある。また、刈遅れによる茶米の発生等、品質の低下を防止するため、適期刈取を励行する。

第1表 「玉系94号」の特性概要

品種名又は系統名	玉系94号	ゆめみのり
熟期区分	中生の早	中生の早
草型	中稈偏穂数型	短稈偏穂数型
稈長 (cm)	80	73
穂長 (cm)	21.1	19.0
穂数 (本/m ²)	394	425
出穂期 (月・日)	8.28	8.26
成熟期 (月・日)	10.14	10.10
芒の多少・長短	稀・極短	少・短
ふ先色	黄白～黄	黄白～黄
脱粒性	難	難
耐倒伏性	強	強
穂発芽性	やや難	易
葉いもち耐 (推定遺伝子型)	やや強 (Pi-a)	中 (Pi-a)
病穂いもち性	やや強	やや強
縹葉枯病	R	R
白葉枯病	やや強	中
玄米重 (kg/a)	57.7	57.5
同上標準比率 (%)	100	(100)
玄米千粒重 (g)	21.1	21.4
品質 (検査等級)	3.4 (1.8)	3.6 (2.6)
食味	上一下	中一上

注) 熊本県農業研究センター農産園芸研究所における1992年～1997年の標肥栽培試験成績